明日から実践できる!! 評価セミナー (DASH・Hand20編)

進リハの集い 代表 青木啓一郎 Rehabilitation Square

患者立脚型質問紙

従来、ハンドセラピィ領域では、治療成績を表すアウトカムとして関節可動域測定や筋力評価、知覚評価など機能的な側面に焦点が当てられてきた。近年では患者中心の医療を実践すること、また、運動器疾患の治療目標が「患者の生活の改善」である事から、The Disabilities of the Arm, Shoulder, and Hand (DASH) に代表される各種患者立脚型が開発される。

DASH-JSSH

上肢の運動器に障害を持つ対象者の能力低下を自己評価する患者立脚型の評価法である。

構成

症状(Disability/symptom):

30問(23問/7問)

スポーツ・芸術

(Sports/music): 4問

仕事(Work): 4問

使用方法

検査1週間前の状態として最も適 している○をつける。

実際に行っていない動作については想像して回答する。

DASH-JSSH

左右や障害の部位に関係なく、その動作が可能であった かどうかを記載していただく。

採点

各項目の合計を回答項目数で割り、その平均値から 1を引き25をかけて100点満点に換算する。機能 障害・症状では3項目以上、スポーツ・芸術と仕事では 項目すべてに回答がない場合は計算ができない。0点ほ ど障害が軽く、100点に近いほど障害が重度というこ とになる。

DASH-JSSH

入手方法

http://www.jssh.or.jp/doctor/jp/publication/kinouhyouka.html

Quick DASH-JSSH

- □ 研究レベルならOK
- 質を問いたいのであればDASHが良い

HAND20

NPO法人ハンドフロンティアが作成している評価表

- □ 20項目の上肢機能を評価するADLからなる。
- □ より文化的影響が受けにくい。
- 平易な用語と短文で構成され、各項目にイラストは貼付されている。
- □ DASHに比べ、高齢者で欠損例が少ない。
- DASHと同等の高い信頼性・妥当性が示唆されている。
- □ 今後、臨床での応用が期待される。

オンラインサロンについて



以下で悩む・思う方はいないですか?

- ✓ 質問は無料だとしにくいから支払うことでしっかりサービスを利用したい。
- ✓ 家庭の事情でセミナーには参加しにくい。
- ✓ 子育て中のため、夜じゃないと勉強の時間とれない。
- ✓ 地方にいるため、なかなか都心部の勉強会に参加しにくい。
- ✓ 一人職場で悩むことが多い。
- ✓ 職場以外のリハ仲間を作りたい。
- ✓ 臨床の質問がすぐにしたい。
- ✓ 研究や学会発表の気軽に相談できる人がほしい。
- ✓ 教育について悩むことがある。
- ✓ 自費分野で働くモデルケースと繋がりたい。

リハスクオンラインサロンサービス 【8つの特典】

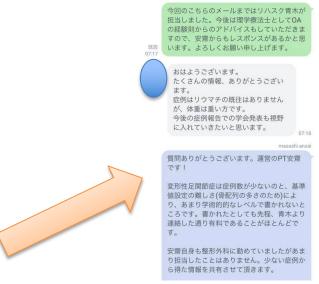
- 1. 定期的に臨床のことや、意欲につながる動画、ブログ配信
- 2. 臨床・研究・教育・転職相談がいつでも無料(24時間以内返信対応)
- 3. 学会発表・研究論文執筆支援プログラム無料
- 4. zoomオンラインlive・Radio配信(サロンチーム・限定公開無料)
- 5. サロン企画・共催のオンラインセミナー参加無料(アーカイブも無料配布) (1ヶ月-2ヶ月に1度開催) <*30000円相当>
- 6. 進リ八の集いセミナーの受講済セミナー動画が無料で閲覧可能 *自身が受講したもののみ無料かつ無期限で閲覧可能
- 7. 臨床で使用する評価シート無料配布
- 8. サロン内でのzoomによる飲み会、相談会、交流会など(今後はオフ会も開催!)

<u>一日30円 月額980円!!</u>

希望者は左のサイトへGO!!

臨床相談サービスの一例





可動域の目標値ですが、固定部位によります。 220 骨一脛骨であれば可動域制限がかかってしまう可能性があります。 現段階では明確な可動域の目標値はお伝えできかねます。 (情報がないので文献検索して再度、お伝えしますね。)

また、体重に対する筋量も気になるところです。これは膝OA同様に減量がまずは治療のベースになります。体重一身長比から、ご本人様の適正体重を割り出してください。その体重にむけて介入するのが必要です。

【改善する動作】

股関節、体幹の伸展と回旋可動域は必須です。そして今後、膝OAになる可能性が非常に高いので膝へのメカニカルストレス改善のアプローチをお願い致します。現段階で、膝痛があれば優先事項は高いです。まだ訴えがないのであれば、股関節のコントロールをメインアプローチとしてください。特に伸展、回旋を立位で行うのが必要です。

【困難となる動作】

歩行において動作の一部制限が掛かることが 予測されます。背屈は制限掛かってきますの で、立脚後期が出にくくなる可能性がありま す。なので、余計に股関節の伸展可動域と荷 重状態での伸展筋エクササイズが必要です。

リハスク専用のLINEアカウントで管理人と直接上記のようにやりとりができます。

(個別相談が可能です)

* これはサービスの1つであり、他にも7 つの特典があります。他では実施していな いサービスなので是非ご活用ください。

詳しくLINE登録は右のサイトへGO!!

https://www.rehabilisquare.com

ご清聴ありがとうございました。

進もう。

ぼくらの一歩が、だれかの一歩に。



進リハの集い

